

市長コラム「道しるべ」

全ての子どもたちが
生き生きと過ごせる教育

私の父は教員でした。旧大野郡の学校で教壇に立ち多くの教え子が巣立っています。父の背中を見ながら育った私は肌感覚で教育観の基礎が出来ました。教育とは学校教育・家庭教育・社会教育を含めて現社会の課題を解決し、未来の社会を創造していくための有益で壮大な人間の営みであるという思いです。人が人を育てる行為は全ての英知を結集して当てるべき重要な行為です。しかし一歩間違えば将来に禍根を残す危険もはらんでいます。国や地方自治体はこのことに十分留意し、取り組みをすべきと考えています。



⑤ 電子黒板：写真や動画、図などを画面に映しながら授業を行います。

⑥ タブレット：漢字や計算ドリルのほか、植物等の写真を撮影し観察レポートを作成するなど様々な使い方ができます。



今後は、体育の授業で、跳び箱や体操などがうまくできるように、タブレットで自分の動きを動画に撮って、確認することなどに活用してみたいです。

楽しく学べて、分かりやすくなった
久々野中1年生 青木 志葉 さん

現場の声
Real Voice

ICTを活用した授業について
生徒と先生から話を聞いてみました。

電子黒板やタブレット端末が使われるようになって、授業が面白くなりました。それは、授業のなかで写真や動画がたくさん使われるようになったので、学習している内容が分かりやすくなったからです。

また、電子黒板では、クラスの中の意見を映し出して共有することができます。自分の考えと他の人の意見と比べながら考えることができるので、自分の考えが広がることを実感しています。



ICTを活用することにより写真や動画などを多用できるため、よりリアリティのある授業ができるようになりました。そのため、生徒が理解しやすくなってきていると感じています。その反面、インターネットを活用した授業となるために、近年増えているネットによるいじめを防止するための教育も必要となり対応しています。

生徒一人ひとりのタブレットを教師のパソコンでまとめて確認できるようにするため、誰がどこでつまづいているかなどの把握がしやすくなり個別の支援につながっています。ICTを活用した授業の効果を感じています。

生徒一人ひとりのフォローがさらに可能に
ICT 担当 柳原 正人 教諭